

在ムンバイ日本国総領事館海外安全対策情報
平成28年度第1四半期（平成28年4月～6月）

1. 治安情勢

- マハラシュトラ州で軍の武器倉庫が炎上し多数の死傷者
5月31日マハラシュトラ州ナグプール市からおよそ110キロメートルに位置するプルガオンにおいてインド国内最大の武器保管庫で大規模火災が発生し、17人の兵士と2名の警察官が死亡した。
- マディアプラディッシュ州ウジャイン市における祭りで6人死亡
マディアプラディッシュ州ウジャイン市において12年に一度開催される祭りに参加していた外国人観光客6人が将棋倒しで死亡する事故が発生した。
- チャティスガル州でナクサライトとボーダーポリスが衝突
6月9日、チャティスガル州コンダゴアンにおいて、ボーダーポリスとナクサライトの衝突が発生した。ナクサライト側は100人の戦闘員がロケット砲等を使用してボーダーポリスのキャンプを襲撃した。3時間以上にわたる戦闘の後ナクサライト側はジャングルに引き上げたが、ボーダーポリス側の死傷者はなかった。
- ゴアでロシア人女性がゲストハウスオーナーから強姦被害
4月28日、ゴア市内のゲストハウスに宿泊し同所で就寝中、ゲストハウスのオーナーがマスターキーを使用して室内に侵入し、同女を強姦する事件が発生した。

2. 邦人に係る一般犯罪情勢

殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

- ア 殺人
邦人被害の事件は認知していない。
- イ 強盗
邦人被害の事件は認知していない。
- ウ 強姦
邦人被害の事件は認知していない。

3. テロ・爆弾事件発生状況

期間中、誘拐・脅迫事件の発生はなかった。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

期間中、誘拐・脅迫事件の発生はなかった。

5. 対日感情

良好である。

6 犯罪統計

ムンバイ市警察本部は、2016年1月1日から7月24日までに認知した犯罪件数について統計を発表した。主な犯罪の認知件数は以下のとおり。

○ 殺人	82件	（前年同時期対比	-5件）
○ 強盗	118件	（同	+3件）
○ 傷害	2,650件	（同	+9件）
○ 恐喝	150件	（同	+1件）
○ 強姦	381件	（同	-12件）

○ 窃盗 3, 807件 (同 - 11件)

○ チェーン・

スナッチング(※) 277件 (同 - 273件)

(※) 女性が首等に身につけている貴金属をひったくる犯罪

殺人・強盗・恐喝等の凶悪犯罪は昨年比でほぼ横ばいであるが、昨年発生が目立ったチェーン・スナッチングについては、ムンバイ市警察がパトロール強化等対策を実施した結果、その発生件数は昨年比でほぼ半減した。

昨期(2月)、単独の邦人旅行者を狙った睡眠薬強盗被害が相次いで発生した。手口はいずれも親しげに近づいてきて打ち解けたところで睡眠薬入りの飲食物を勧められて昏睡したところを金品を窃取するというものであったことから、不用意に誘いに乗らず、飲食物等進められても毅然と断る姿勢が必要である。